



タクシー配車端末の実証実験を病院で実施！

～次世代タクシー配車アプリ「MOV」を誰もが気軽に

タクシーを呼べる端末として設置します～

I・TOP横浜では、平成29年9月～10月に横浜市の一部地域を対象に、株式会社ディー・エヌ・エーが提供する、次世代タクシー配車アプリ「MOV（モブ）」の実証実験を実施し、平成30年4月に一般社団法人神奈川県タクシー協会と共同で正式サービスを開始した際の支援を行いました。

この度、「MOV」の仕組みを利用し、気軽にタクシーを呼べる専用配車端末「MOV CALL（モブコール）」を横浜市内3か所の病院に設置する実証実験を行います。

「MOV CALL」は、スマートフォンをお持ちでない方でも会員登録をせずに簡単にタクシーの配車予約ができる他、通常のタクシーの他にUDタクシー（ユニバーサルデザインタクシー）を呼ぶことができます。

実証実験では、患者様や病院にご来院する方の利便性向上を目的に、市内の病院にご協力いただいています。

実証実験概要

実証実験期間

令和元年11月27日（水）～令和2年3月31日（火）

設置病院

横浜市立市民病院、横浜市立脳卒中・神経脊椎センター、
済生会横浜市東部病院



▲ MOV CALL

※今回の実証実験への参加タクシー会社は55社、約3500台を予定しています。

「MOV CALL」の特徴

- ① スマートフォンをお持ちでない方も会員登録をすることなくタクシーの配車が可能です。
- ② 通常のタクシーの他に、UDタクシー（ユニバーサルデザインタクシー）も呼ぶことができます。
- ③ 待ち時間の目安もリアルタイムで表示される他、配車依頼後は予約レシートに記載の二次元バーコードを読み取らせることで配車状況が確認できます。

※利用にあたってはメーター車賃、タクシー会社所定の迎車料金、有料道路通行料等をお支払いいただきます。

※UDタクシーを指定した場合、車両指定料金が別途かかります。

※タクシー配車予約後、待ち時間があります。

参考

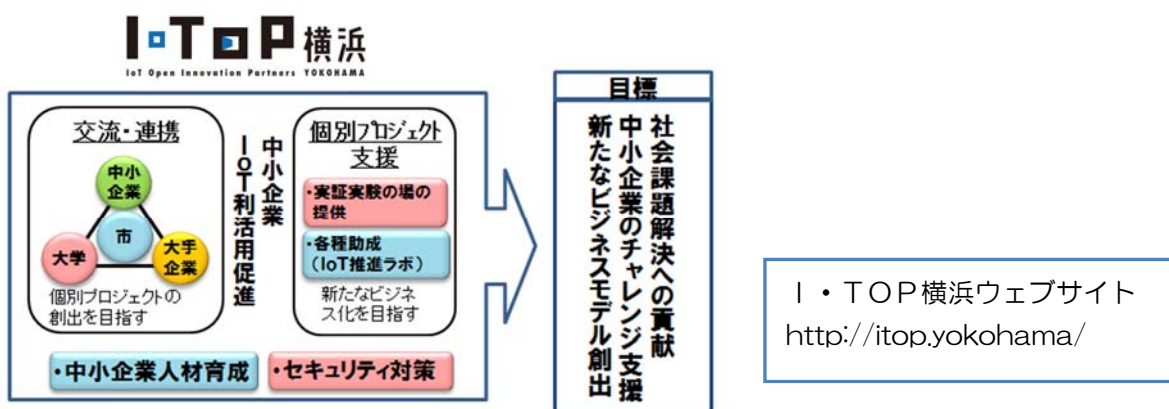
【MOVとは】

次世代タクシー配車アプリ「MOV」は、対応する乗務員専用端末とセットで、タクシーの配車をスムーズに行えるサービスです。乗客は、アプリで予想到着時間を事前に確認した上で指定の場所へタクシーの配車依頼を行うことが可能です。周辺を走行中のタクシーがリアルタイムに可視化されて表示されるため、空車走行中のタクシーを簡単に確認することもできます。

「MOV」にはAIによる需給予測システムを活用した「お客様探索ナビ」を導入予定です。既に、2017年9月から10月まで横浜市の一部地域にてI・TOP横浜の取組を活用した実証実験を実施しており、その結果を踏まえた機能改善を行っています。この需給予測システムは、運行中のタクシー車両から収集するプローブデータ(自動車が行った位置や車速などの情報を用いて生成された道路交通情報)とタクシー需要に関連する各種データ(気象、公共交通機関の運行状況、イベント、商業施設などのPOI情報、道路ネットワーク構造など)を解析し、乗務員へリアルタイムかつ個別に走行ルートを推薦するものです。

【I・TOP横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）とは】

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



お問合せ先

経済局新産業創造課長

高木 秀昭

Tel 045-671-3913

※本件は、（株）ディー・エヌ・エーと同時発表しています。

※本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。

利用方法と端末設置場所について

1 利用方法 (イメージ)



2 各病院の端末設置場所

(1) 横浜市立市民病院

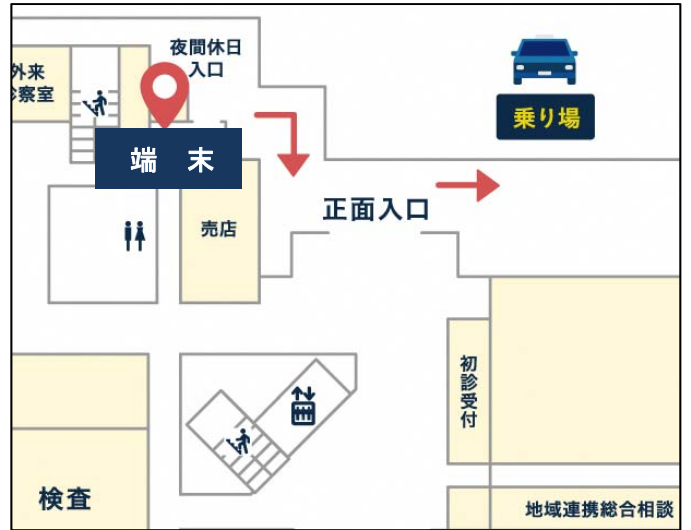


(2) 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

日中



夜間



(3) 済生会横浜市東部病院

日中



夜間

